



謹賀新年

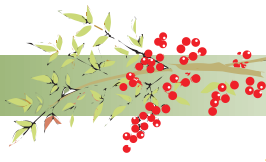
未来に繋がる自分へ繋げる

●年頭にあたり

「日々是れ精進」
 只管打坐しかんたさ 総長 田中 良昭
 学長 石井 清純

主な内容

年頭にあたり	4
在職中の思い出	5
仏教行事について	6
就職活動体験記	9
大学院新研究科開設	10
学生企画	13
サークルの活動報告	15
駅伝陸上競技部 全日本優勝・箱根総合3位	16



迎春

年頭にあたり



「日々是れ精進」

総長 田中 良昭

新年おめでとうございます。

年こそ改まりましたが、一昨年3月に発生した東日本大震災とそれに伴う津波の被害に遭われた方々には、まだまだご苦勞の毎日が続いていることと思われま。被災者の皆さまが一日も早く平穩な生活を取り戻すことができますよう、心より祈念申し上げます。

さて、本学は、昨年秋に開校130周年を迎え、10月15日には深沢校舎で式典と祝賀会を、また11月9日には駒沢校舎で物故者追善法要を執り行い、本学の歴史の跡を偲ぶと共に、その間本学の発展に尽力された多くの方々への報恩感謝の誠を捧げることができました。また本年(2013)は、本学の前身である曹洞宗大学が、麻布北日ヶ窪から現在の駒沢へ移転した大正2年(1913)から数えてちょうど100年にあたることから、この両者を合わせた記念事業として、昨年10月から開校130周年記念棟の建設に向けての募金活動を開始したところです。

このように、本学が130年の年輪を重ねて今日の姿があるように、私たち一人ひとりも自分の年齢を重ねて生きています。かつての数え年から満年齢に変わった結果、正月の重みが軽くなったように思われますが、そんな思いにかかわらず、時は刻々移り変わり、流れ去っているのです。そうした時の流れの中にあっという間に身を処すべきか。仏教の開祖釈尊は、最後の説法で「汝等不放逸にしてつとめよ」と怠惰を戒め、中国の禅僧石頭大師も、「光陰空しく度ることなかれ」と安易な日送りを諷めています。日々是れ精進(努力)以外に人生はないのです。



只管打坐

学長 石井 清純

最近、あらゆることの理由づけと価値づけを数値で示すことが要求されるようになってきました。もちろん、大学も含めて、公的な仕事を客観的指標によって検証することは重要です。しかしその一方で、実践や改革が、必要であるからではなく、評価基準を満足させるためだけに行われるという顛倒(てんどう)をもたらし、その生命を喪失させてしまっているように感じることも少なくありません。

道元禪師は、自己の行為を「只管打坐」と規定しました。この言葉は、国語辞典では、「ひたすら坐る」と説明されています。しかし、「只管」は、単に「ただ」という意の副詞で、プラスの意味もマイナスの意味もありません。つまり「只管打坐」とは、「ただ」坐禅するということなのです。

道元禪師は、この坐禅という行為を、「作仏を求めざる行仏(仏となることを求めない、仏としての営み)。」(『正法眼蔵』坐禅箴)と捉えました。悟りという目的のためでなく、「ただ」坐る、というのです。学生時代に教えを受けた酒井得元先生は、よく授業で「坐禅してもナンにもならん」と言われていました。しかし、だからこそ、自己の命の営みとしてしっかり坐禅しなければならないというのです。

坐禅に限らず、手段としてではなく、行為そのものを、「ただ行う」という姿勢は、数値化によって評価し序列化するという昨今の風潮とは相容れないものかもしれません。しかしそのような時代であるからこそ逆に、思惑や体面など気にかけることなく、自らなすべき営みを、「ただ行う」ことを大切にしていかなければならないのではないのでしょうか。

一転語

秘仏一厳格な寺伝やたたり伝承から、ふだんは一般拝観できない仏像をいう。聖徳太子ゆかりの法隆寺夢殿の国宝・救世観音像もその一つである。昔から厨子を開けると地震が起きて世界が減びると伝えられていたが、明治17年にアメリカの美術史学者アーネスト・フェノロサが僧侶達の反対を押し切り、嚴重に密封された厨子を開け、数百年の埃がしみ込んだ約460メートルもの木綿をほどいた◆静寂な堂内にもうもうと立

ちこめる塵の中から姿を見せた秘仏は、千年前の色彩をとどめた見事な観音像であった。現在では飛鳥時代の代表作として日本史の教科書に掲載され、誰もが知っている仏像である◆この時、日本は廃仏毀釈の世であった。寺院は衰退し、有名な寺院の仏像までもが骨董店に持ち込まれていた。こうした中でのフェノロサの古美術調査は、その後の文化財行政を推し進め、文化財保護法の前身・古社寺保存法の制定の端緒となった。「国宝」という概念もフェノロサが考案したものであ

る◆秘仏を開扉した翌年にフェノロサは得度し仏弟子となる。「キリスト教が進化すれば必ず仏教のようになる」とは彼の有名な言葉であるが、彼の仏教や日本への愛着が心底まで及んでいたことが伺えると同時に、廃仏という世情にあっては、大變に勇気のいる発言であった◆今年にフェノロサ生誕160周年にあたる。日本文化を正しく理解しようとした彼の情熱を想起し、学問に対して真摯に相対しようとしたフェノロサの勇気を改めて学び直したい。

開校130周年記念式典および祝賀会開催



駒澤大学は、2012年10月15日に開校130周年記念式典および祝賀会を挙行了しました。本学は、1882(明治15)年同日に、校名を「曹洞宗大学林専門本校」と改称し開校式を行ったことに因み、この日を開校記念日としています。

駒澤大学の前身は、今から421年も遡る1592(文禄元)年に設立された「学林」という仏教の研究を行う学問所です。場所は、駒沢キャンパスのある世田谷区駒沢ではなく、江戸駿河台吉祥寺という寺院(現在の千代田・文京区)の境内でした。1603(慶長8)年に江戸幕府が開かれる11年前の、豊臣秀吉が国を治めていた安土・桃山時代であったことを

～今年も駒沢の地へ移転100年～

考えると、駒澤大学がとても長い歴史を有していることが実感できるのではないのでしょうか。

式典当日は、この日を祝うべく、曹洞宗宗門や他の学校などから本学に縁のある方々のご臨席を賜りました。

記念式典は、午前11時から深沢キャンパスアカデミーホールで行われました。多くの来賓が列席し、田中良昭総長が導師となり記念法要を執り行いました。また、須川法昭理事長の式辞、石井清純学長の挨拶、佐々木孝一曹洞宗務総長および越後宏允同窓会長の祝辞などがあった後、校歌斉唱をもって閉式となりました。

続いて、式典後の祝賀会が、深沢キャンパスの洋館大ホールで正午から開催されました。この祝賀会では、出席された来賓のために、軽音楽部ジャズ研究会が「鈴懸の径」と「Seven steps to heaven」の2曲を生演奏した他、空手道部が団体型「岩鶴」の演武を披露し、会場に華を添えました。

昨年開校130周年を迎えた本学は、さらに今年、1913(大正2)年に麻布区北日ヶ窪町(現在の港区六本木)から駒沢の地に移転して100年を迎えます。

学林が誕生して420年有余、開校130周年と駒沢移転100年という大きな節目の2年を迎えています。(広報課)



須川理事長の式辞



軽音楽部ジャズ研究会による生演奏



空手道部による演武

《開校130周年記念事業》

2012駒沢ふれあい寄席 ～『駒沢落語会』開催

800人の来場者みんなでお祝い

平成22年に第10回最終公演を迎えた「駒沢落語会」が、12月8日(土)、駒澤大学開校130周年記念を機にふたたび本学記念講堂(駒沢キャンパス)に帰って来ました。

2年ぶりに行われた本会は、開場の午後1時前にはすでに多くの方の入場待ちの列ができ、会場の1階席はほぼ満員という盛況ぶり。会場は2年前と変わらない熱気に包まれました。

開演後は、駒澤大学出身の桂竹丸さん、神田愛山さん、桂文雀さんの落語・講談や大瀬ゆめじ・うたじさんの漫才など、多彩な演者さんたちによる熱演に会場は大きく盛り上がりしました。

この「駒沢落語会」は、西修名誉教授が平成13年度に「地域の絆」をテーマとして開始したもので、以降、西先生ご退職の平成22年度まで近隣の皆さまに愛されてきました。今回は以前ご出演いただいた演者さんも多数参加され、会場の皆さまには、懐かしい「駒沢落語会」のひと時をお楽しみいただきました。

(広報課)



今年、2013年は、**100年目**です。
本学が駒沢の地へ移転して



駒澤大学は、昨年の開校130周年、今年の駒沢移転100年という大きな節目の2年間を迎えました。『縁(えん)』をテーマに、大学の知的資産を社会に還元しうる公開行事などによる同窓生・学生・教職員および地域との連携強化と地域貢献、および開校130周年記念棟の建設計画開始などの将来を見据えた大学の基盤強化を進めています。

詳細は、下記ホームページをご覧ください。
http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/bokin/130_100_memorial

在職中の思い出

平成25年3月31日に定年退職される先生方に在職中の思い出を語っていただきました。

学人として学人へ



文字から無文字への旅であった。学生の時代から教師の時代まで、すでに50年が経つ。長くもあり、前四半世紀、もっぱら外の世界を訪ねた。短くもあり、後四半世紀、ひたすら内なる自己を尋ねた。あらゆるときに経を学び、あらゆるところで禅を学んだ。そして知り得たことは、仏の如是、祖師の只管、智慧と慈悲の心であった。その学びの始まりに、東

仏教学部教授 片山 一良

元慶喜先生より、歌のお葉書をいただいた。「みんなのもしまなばんとはげむひと すこやかなれといのるわれかも 満濡道人」。夏休みにセイロン文字で書かれたパーリ仏典の貝葉を一心に書写したことを思い出す。師の言葉は有り難い。私の駒澤大学での日々は、学人として学人に、その法水を汲み、漏らさず、伝えようとしたことにあったと言える。

晴れたり この空 この我が駒澤



いろいろな偶然が重なった結果、本学経済学部に着任することとなった。新米の1年生教師にとって、経済学全般について知悉は望みえないまでも、大勢の要所と動向を常に把握し、研鑽怠りなく授業に生かすことは至難である。その時代の問題意識、学問の風向きを察知しながら、絶えずテーマを変えたり増やしたり「アーデモ」ない、「コーデモ」ないと悪

経済学部教授 浅野 克己

戦苦闘、試行錯誤の連続であった。

日暮れて道遠しの感は免れないものの、39年の歳月は夢のように過ぎ去った。これほどの長きにわたって仕事を続けてこられたのは、欲を言えばきりがないけれど、よろずに気兼ねなく、手足を伸ばして心ものびやかに暮らしてこられた駒澤大学の校風のおかげと、感謝の念をもって懐かしく回顧される。

40年の標



私は今年で40年間在職しているということになります。この間私の関心事は、どうやったら生活しやすい環境をつくれるか、ということでした。それには、学内での「教職員組合」創設、ということもありましたが、やはりなんといっても教育の問題にありました。

私は、ここ30年ぐらいいわゆる「試験」というものを実施してきませんでした。私自身がこの「試験」

経済学部教授 阿部 弘

というものに苦しめられてきて、大学院入試も含めて3浪してしまいました。ですから、何か、非常に近い形で評価ができないものか、何度も受講生諸君と相談して現在にいたりしました。講義科目を3つも担当したため、「レポート読み」はかなりの重労働だと感じたこともありましたが、ともかく、これを機に受講生諸君と話しができたことは、よかったですと思います。

駒澤大学に感謝



政治学科が法学部に設置された時に就任して以来、実に永きにわたっての大学生活でした。昭和の良き時代の所為もあったろうが、本学のおおらかな気風の中で過ごすことのできた41年間は、私にとって至福の時でありました。この環境を与えてくださった先輩・同僚の皆さまに心から感謝を申し上げます。

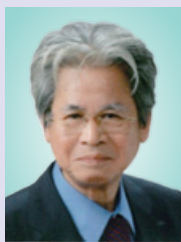
過日ゼミ生の卒論指導の時に、「私はお祖父さんと

法学部教授 小堀 訓男

中々会えないので、先生とお話しできるのがとても楽しみです。」と言われ、何とも複雑な思いでありました。かつては学生たちの兄貴分のつもりで、公私の区別なく苦楽を共にした若き独身時代もあったのです。今では彼等の中には還暦を越えたものも多い。

過ぎし日を思うとき、この41年間は一夜の夢に思えてなりません。

駒澤大学36年



私は36年間という長い歳月にわたって本学には非常に御厄介になった。私がそれにふさわしい貢献を本学にしたのかどうかについては諸氏に問わざるを得ない。とは言うものの、私自身は、御厄介になったわりには、教育・研究・学内行政の面で、すぐれた業績を残したなどとは思っていない。

そうではあるけれども、心密かに嬉しく思っている

経営学部教授 宮城 徹

ることがたくさんある。何はさておき、ミュンヘン工科大学ビジネス・スクールの開校記念祝典式に招待され同校のパンフレットに写真入りで私の短文が紹介されたことである。そればかりでなく、ドイツを代表する経営学者の最新の著書の裏表紙に推薦文の執筆を依頼され掲載されたことである。正に身に余る光栄である。本学の中興を願っている。

「考える場」に感謝



学生時代を入れると大学キャンパスでおよそ50年も過ごしたことになる。この間一貫して「商業経営」の研究に専念させていただいた。キャンパスで理論の構想を練り、商業経営の現場でその妥当性を検証し、不足な部分はさらにキャンパスで再考するという研究サイクルが続いた。キャンパスで清新な理論を構築し、経営現場でその理論を支えに公正と人間

経営学部教授 山田 勝

愛を主張していくので、キャンパスはいつもそうした闘争心を培うかけがえのない場所であり続けた。無条件にそして自由に「考える場」を提供していただき、さらに人生を戦い抜く正義と人間愛を貫くエネルギーをくださった大学と教職員の皆さんに、そして多くの学生諸君に心から感謝しています。

駒澤大学学術褒賞について

曹洞宗の教学及び駒澤大学の学術の振興をはかることを目的に、曹洞宗特別奨励賞及び駒澤大学学術文化賞を設け、各々の専門分野において学術上顕著な業績を発表した方に対して褒賞を行いました。受賞者には、12月7日に行われた成道会法要後の授与式において、賞状と賞金が授与されました。

曹洞宗特別奨励賞

仏教経済研究所研究員 胡 建明氏

業績名：『圭峯宗密思想の総合的研究』

受賞理由：宗密思想の解明のみならず、禅宗研究や中国仏教研究の目指すべき方向性を示唆しており極めて学術価値が高い。

駒澤大学学術文化賞

経済学部教授 代田 純氏

業績名：『ユーロと国債デフォルト危機』

受賞理由：ギリシャ国債危機による欧州圏や日本への影響を、客観的かつ豊富なデータに基づき分析している点が高く評価できる。



高祖降誕会

仏教学部教授 角田 泰隆

—道元禪師とスティーブ・ジョブズ—

高祖とは道元禪師（1200～1253）のこと、降誕会とは誕生日にあたって営む法要です。道元禪師のご誕生を祝うにあたり、道元禪師という一人の歴史上の人物の存在が、現代に様々な影響をあたえている一例をお話させていただきます。



一昨年の10月5日、アメリカ合衆国の実業家、スティーブ・ジョブズ氏が亡くなりました。パーソナルコンピュータで世界初の成功を取めたアップル社の共同設立者の一人です。評価はまちまちですが、ジョブズが手がけた製品は、シンプルな操作性の画期的な製品で、コンピュータの世界で輝く功績を残しました。ジョブズは、若い頃、インドに旅して仏教に触れ、1970年代にカリフォルニア州の禅センターに通って、日本の曹洞宗の僧侶、乙川弘文師（1938～2002）と交流を深め、禅を学び、禅の思想から多くの影響を受けたと言われています。ジョブズの波瀾万丈の生涯で、道元禪師の教えがその支えとなっていたとすれば、iPhoneやiPadの誕生にも、道元禪師が関わっていたとも言えましょう。ジョブズが手がけた製品のシンプルな操作性やデザインには、禅のシンプルな生き方や考え方が影響しているのかもしれません。

涅槃会

仏教学部教授 石井 公成

釈尊が涅槃に入られたとされる2月15日に、釈尊を追慕し、涅槃図を掛けて行われる涅槃会は、釈尊の誕生を祝う法会と並ぶ重要な法会である。

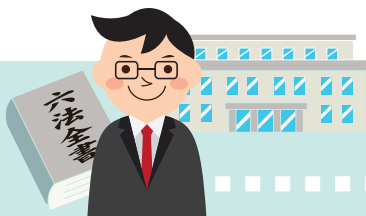


ところが、涅槃会という言葉は、漢訳經典では唐代の菩提流志が訳した『大宝積經』に一例あるだけだ。しかも、文脈から見て誤写か「涅槃の場」の意である可能性が高い。

中国の仏教文献でも、涅槃会という言葉が現れるのは、現存文献による限りでは6世紀末あたりからである。入涅槃の日には、むろん厳粛な儀礼が行われていたが、呼び方は異なっていたのだ。ただ、隋代以後は、中国でも韓国でも涅槃会という語が盛んに用いられており、日本でも平安時代から用例が出てくる。

一方、涅槃会とならぶ釈尊誕生の日の法会については、「降誕会」にしても「仏誕会」にしても、古い文献には全く用例がない。「灌仏会」も、日本の12世紀の文献に一例見られる程度で、近世になるまであまり用いられていない。

むろん、誕生を祝う儀礼はどの国でも盛んに行われてきた。ただ、定着していた涅槃会と違い、呼び方は様々であったのだ。このことは、釈尊の涅槃という事実が、アジア諸国の仏教信仰にとっていかに根本的なものであったかを、よく示している。



無料法律相談・講習会「市民ロースクール」



法科大学院では、毎年、春と秋の2回、第一東京弁護士会の公設法律事務所である渋谷シビック法律事務所のご協力のもとに、無料法律相談を開催しています。今秋は、11月3日（土）の午後に法科大学院棟において、渋谷シビック法律事務所所属弁護士1人と法科大学院実務家教員5人が担当しました。今回も、相続、借地、株式など多種多様な案件の相談があり、傍聴した法科大学院生の勉学にも大いに役立っています。

法科大学院生の実務研修の意味合いを兼ねて行っているため、30分間の相談終了後、担当弁護士と傍聴した法科大学院生との間で更に約30分ほど当該案件の法律問題を復習・討議し



ます。そのため、担当者一人あたり3件、総計で18件の案件しか取り扱うことができません。事前予約制で実施しているのですが、毎回、予約は満杯になります。

相談を希望しながら予約から外れて相談できない方が多数いらっしゃいますので、今年からフォローのための法律実務の講演会も開催することにしました。今回は、翌週10日に「知っておきたい相続のこと」というテーマで開催し、法科大学院実務家教員の柴谷が担当しました。人が亡くなって財産や負債が残っていると必ず相続が発生し、その中の一定割合が紛争になりますので、毎回、無料法律相談の案件の中で件数が多いのは相続問題です。実践的な話をしなければ意味がありませんので、民法と税法の異同や遺産分割紛争の戦い方などについて指南を行いました。このように実務上のニーズに応えることができるのが、法科大学院の存在意義の一つであろうと思います。

（法科大学院特任教授 柴谷 晃）

新刊紹介



2012(平成24)年に刊行された本学専任教職員の著作物(共著、編著、解説、監修を含む)の一覧です。これらは、図書館2階の「教職員著作物」コーナーなどで、すべて閲覧することができます。是非、一度手にとってご覧ください。

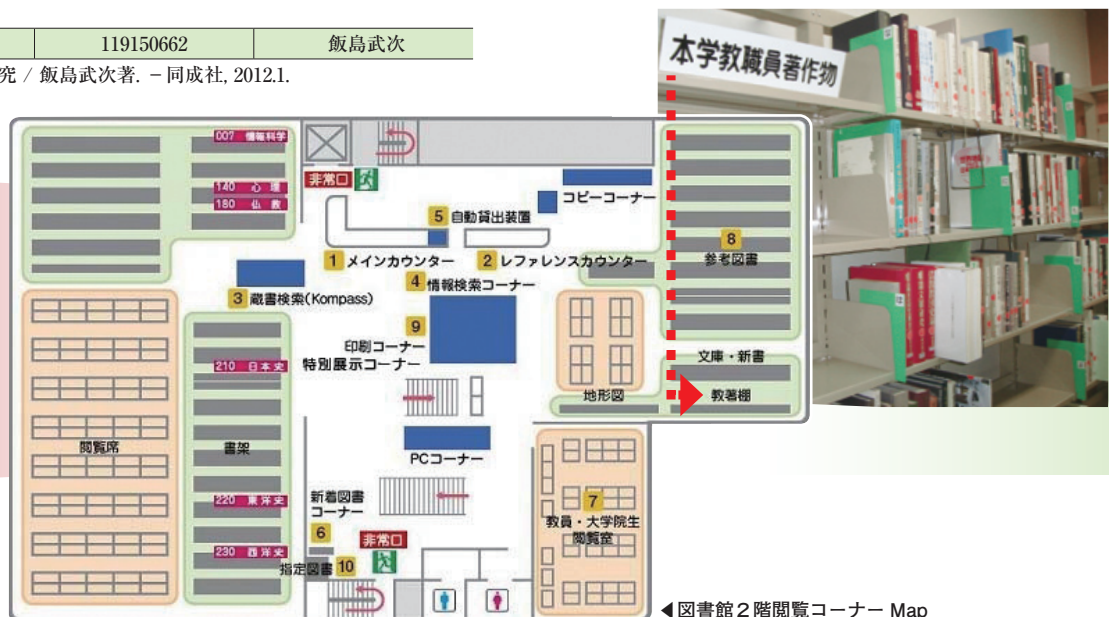
※2012年11月15日までに図書館に配架された書籍を掲載しています。

下表の凡例

2012年刊行		
配置場所	資料ID	執筆者
書誌事項		
2012年刊行(一般書架)		
請求記号	資料ID	執筆者
書誌事項		

2F教著コーナー	129150017	長山宗広
日本的スピノフ・ベンチャー創出論：新しい産業集積と実践コミュニティを事例とする実証研究 / 長山宗広著。 - 同友館, 2012.2.		
2F教著コーナー	129150074	石井修道
正法眼蔵 / 水野弥穂子訳註。 - 1 - 9。 - 春秋社, 2002.10-2012.4。 - (道元禪師全集：原文対照現代語訳 / 道元 [著]；第1巻-第9巻)		
2F教著コーナー	129150108	角田泰隆 石井清純
禪と林檎：スティープ・ジョブズという生き方 = Zen and apple / 角田泰隆編。 - ミヤオビパブリッシング		
2F教著コーナー	129150157	明石博行
3・11後の産業・エネルギー政策と学術・科学技術政策 / 日本科学者会議 科学・技術政策委員会編。 - 八朔社, 2012.6.		
2F教著コーナー	129150165	坪井健
多文化社会の偏見・差別：形成のメカニズムと低減のための教育 / 加賀美常美代 [ほか] 編著。 - 明石書店, 2012.4.		
2F教著コーナー	129150173	角田泰隆
道元：いま、此処、このわたしを生きる。 - 平凡社, 2012.7。 - (別冊太陽。日本のこころ；197)		
2F教著コーナー	129200028	石井清純
Dōgen : textual and historical studies / edited by Steven Heine。 - : pbk。 - Oxford University Press, c2012.		
2F教著コーナー	129150181	佐藤秀孝
運庵普巖と『運庵和尚語録』：虚堂智愚と石帆惟衍を育成した南宋中期の臨済禪者 / 佐藤秀孝 [著]。 - 臨済宗妙心寺派教化センター, 2012.5.		
2F教著コーナー	129150199	松村格
刑法学への誘い / 松村格著。 - 全訂版。 - 八千代出版, 2012.5.		
2F教著コーナー	129100442	大塚桂
政治哲学入門：政治・共同体・イデオロギー / 大塚桂著。 - 第2版。 - 法律文化社, 2012.2.		
2F教著コーナー	129150207	片山一良
パリ仏典にブッダの禪定を学ぶ：『大念処経』を読む / 片山一良著。 - 大法輪閣, 2012.8.		
2F教著コーナー	129150215	東雄一郎
亡霊のアメリカ文学：豊饒なる空間 / 松本昇, 東雄一郎, 西原克政編。 - 国文社, 2012.8.		
2F教著コーナー	119150662	飯島武次
中国夏王朝考古学研究 / 飯島武次著。 - 同成社, 2012.1.		

		石井修道
中世禅籍叢刊 / 末木文美士, 石井修道, 高橋秀榮。 - 臨川書店, 2012.		
332.9/125	121152953	吉田敬一
地域循環型経済への挑戦 / 松丸和夫, 吉田敬一, 中島康浩著。 - 本の泉社, 2012.8。 - (労働総研ブックレット；No.5)		
210.3/995	121114664	瀧音能之
図解とあらすじでよくわかる「古事記」入門 / 瀧音能之監修。 - 光文社, 2012.4。 - (知恵の森文庫；[t]た5-1)		
210.3/999	121117840	瀧音能之
古代人なるほど謎解き一〇〇話 / 瀧音能之編。 - 東京堂出版, 2012.3.		
210.3/1001	121123293	瀧音能之
図説地図とあらすじでわかる!日本書紀と古代天皇 / 瀧音能之監修。 - 青春出版社, 2012.6。 - (青春新書intelligence；PI-362)		
210.3/1006	121137541	瀧音能之
図説「古事記」の真実：古伝との読み比べで発見する! / 瀧音能之監修。 - PHP研究所, 2012.8.		
291.7/48	121138135	瀧音能之
島根県謎解き散歩 / 藤岡大拙, 瀧音能之編著。 - 新人物往来社, 2012.8。 - (新人物文庫；[ふ-3-1])		
242/96	121110498	大城道則
古代エジプト文明：世界史の源流 / 大城道則著。 - 講談社, 2012.4。 - (講談社選書メチエ；527)		
183/221-1/3	121012611	吉村誠
続高僧伝 / [道宣撰]；吉村誠, 山口弘江訳註。 - 1。 - 大蔵出版, 2012.9。 - (新国訳大蔵経；中国撰述部；1-3。史伝部)		
182.22/122	121314710	石井成成
藏外地論宗文献集成 / 青木隆 [ほか] 整理。 - 도서출판 씨아이알, 2012.6。 - (금강학술총서 / 금강대학교 불교문화연구소；8)		
293/427	121119994	石原孝哉
ロンドンを旅する60章 / 川成洋, 石原孝哉編著。 - 明石書店, 2012.5。 - (エリア・スタディーズ；100)		
188.82/718	121116149	小川隆
虚構ゆえの真実：新中国禅宗史 / ジョン・R・マクレー著；小川隆解説。 - 大蔵出版, 2012.5.		



◀ 図書館2階閲覧コーナー Map

アメリカ企業の自社株買い

経済学部准教授 小西 宏美



研究テーマの関係上、アメリカの商務省（日本の経済産業省にあたる）や財務省が公表する統計をよく見ます。アメリカ政府の統計は、よく整備されている上に、使い勝手が良く便利にできています。しかもこうした豊富なデータが無料（Free）で入手できるのです！

とくによく見るのは、連邦準備銀行の資金循環表です。これは様々な経済主体（家計や企業、金融機関、政府など）がどの程度、資金の貸し借りをを行っているのか、をみた統計です。これを見ると、リーマンショック前にアメリカの家計部門が大量の住宅ローン借入を行っていたこと、ショック後はそれが一気に縮小していく様子が分かります。

最近、注目しているのは株式市場での資金調達です。資金循環表をみると、実は1980年代からアメリカ企業は、全体として株式市場で資金を調達しているのではなく、逆に資金を放出していることが分かります。なぜこのような事態が発生しているのか。答えは、アメリカ企業の自社株買いにあります。かつて資金調達のために発行した自社株を、現在、市場で買い戻しているのです。自社株を買い戻すことは、すなわち株主にお金を返していることに他なりません。

「株式会社の所有者は株主であり、株主のために企業価値を高めることが最重要課題である」というアメリカの株主資本主義は、リーマンショック後も変わりませんが、企業を全体としてみるとはや株式市場で資金を調達していない、という皮肉な結果となっています。一体、株式市場は何のために、誰のために存在しているのでしょうか。そんなことを考えさせられる統計です。

『初めての劇団四季』

グローバル・メディア・スタディーズ学部講師 高 媛



先日、東京駅界隈を散歩してみた。丸ビル1階のアトリウムにすごい人だかりができ、その中心は『オペラ座の怪人』の豪華セットだった。これは今年創立60周年を迎える劇団四季と丸ビルとのコラボイベントの一環らしい。

思い起こせば、初めて劇団四季を観たのは、今から20年前、中国東部の長春市にある吉林大学在学中の頃だった。1992年春、日中国交正常化20周年を機に、劇団四季は新作『李香蘭』を携え、北京、上海、瀋陽、長春の四都市で公演を行った。李香蘭（本名・山口淑子）は、旧満洲（中国東北部）で生まれた日本人で、1938年から満洲女優として「日満親善」の国策映画に出演し、戦後は中国を裏切った罪で軍事裁判にかけられた、数奇な運命を辿った女性である。劇団四季が北京、上海のような大都市だけでなく、旧満洲の瀋陽、長春で公演を敢行したのも、彼女が人生で一番の激動期をここで過ごしていたからだそうである。

『李香蘭』を鑑賞した時、最も印象に残ったのは、中国人の裁判官が「憎しみを憎しみで返すなら争いはいつまでも続く。徳をもって怨みに報いよう」と無罪を申し渡すシーンだった。あれから20年が経ち、くしくも私はいま、満洲時代の文化史を研究している。そして、尖閣諸島をめぐり、日中関係は国交正常化から40年目にして最も悪化してしまったと言われている。「憎しみを憎しみで返すなら争いはいつまでも続く」のセリフを吟味しながら、20年ぶりに『李香蘭』を観てみようと思った。

MySeminar 私のゼミ vol.129

医療健康科学部 診療放射線技術科学科4年 高藤 優輝

嶋田守男・吉川宏起 セミ

嶋田・吉川研究室は、3年生10人、4年8人の計18人で構成された研究室です。本研究室では現代医療に欠かすことのできない画像診断における、診断技術の向上を目的とした研究を行っています。「学生の自主性」を重んじ決まった活動内容を持たず、研究のテーマで使用するモダリティも、CTやMRIが中心ですが、基本的には学生が興味を持ったものを幅広く研究テーマとすることができます。卒業研究では2人の先生の人脈を活用させていただき、本学に置かれた装置だけではなく実際の医療施設で用いられているより高性能な装置をお借りすることもあり、より新

しい臨床技術に基づいた研究を行うことができるのがこの研究室の強みです。また、関連学会や現役の診療放射線技師向けの勉強会、講演会等に参加することで、普段の大学での講義だけでは学ぶことのできないより専門的な内容も積極的に吸収しています。

この他に4年生は国家試験に向けた対策を中心に、3年生は春休みに行う約2ヶ月間の病院実習に備えた勉強会も行っています。また、先生方のお忙しい合間を縫って通常授業の他に課外授業を行っていただくこともあります。

様々な活動・研究を通して研究室のメンバーは打ち解けあい、勉強中、疑問が生じた時には議論し教え合える関係となっています。嶋田先生、吉川先生のご指導の下、人間関係が希薄になりがちな大学生活においても、研究室がメンバーにとっての日々の居場所の1つとなり、医療現場での活躍を目指し、成長していくためのエネルギー源として機能しています。



就職活動体験記 ～これから就職活動に挑むみなさんへのアドバイス～

就活生に 伝えたいこと

経済学部経済学科4年

柳澤有希



「人の健康と心の豊かさを実現できること」が就活の軸としてあり、化粧品や製薬業界を受けさせていただきました。本格的な就活が始まる12月初旬は、業界を絞ることができず様々な業界の会社説明会に行きました。そこで魅力を感じる業界や、企業と巡り合うことができ、具体的な方向性を掴むことができました。また、魅力を感じられない業界を知ること成果のひとつです。ネットの情報だけを信じるのではなく、自分の足で企業に赴き、本当の声を聴いてください。

「自分の魅力を伝えること」-これは就活において最も重要なことです。学生時代にどのような経験を通して、他の学生にはない能力を身に付けたのかを細かく伝える必要があります。そのために、自己分析を行い、他の学生には負けない長所を知ることから始めてみてはどうでしょうか。自分自身が分からなければ、他人にも自分の良さを伝えることはできません。

最後に、自分の将来のビジョンを常に描き、就活に望んでください。

(内定先：キッセイ薬品工業株式会社)

私流就職活動

グローバル・メディア・
スタディーズ学部4年

山田雅子



① OG訪問

知り合いのCAさんと連絡を取ったり、CAさんと関われる機会を見つけては足を運んでお話を伺い、書類を見ていただきました。現役の方のお話は自分が働いている姿をよりイメージできるためオススメです。

② 空港へ行く

モチベーションを上げるためにも空港へ行っては飛行機を見たりしていました。航空業界に興味がある方もたくさんいらっしゃるの、そんな方々から自分が知らなかった話などを聞くこともでき勉強になり、また応援もしていただきました。

③ 飛行機に乗る

実際にサービスを受け、CAさんに話しかけお話を伺いました。実際に働く姿を見て、本当に自分もこの仕事に就きたいのか考える良い機会になりました。OG訪問をさせていただききっかけにもなりました。

自己分析や企業研究はもちろん行いますが、積極的に動き、見たり聞いたりすることで、出会いもあれば、自分しか知らない情報やチャンスがたくさん得られ、その先に繋がっていくと思います。

(内定先：日本航空株式会社)

合同企業説明会情報 キャリアセンター

★4年生・修士2年生対象

■第12回合同企業説明会

日時：2/15(金) 13:00～16:00

場所：記念講堂

平成25年4月入社に向け積極的に採用を続ける企業約20社が来校します。

※リクルートスーツ着用・申込不要

★3年生・修士1年生対象

■第2回合同企業説明会

日程：1/30(水)・1/31(木)・2/1(金)

時間：10:00～16:30

午前と午後で説明会の企業が異なります。

場所：体育館(6号館)

学内最大規模の合同企業説明会!!3日間で約400社が来校します。駒大生限定の合同企業説明会のため、並ぶことなく入れます!!昨年度は延べ3,000人を超える学生が参加しました。

※リクルートスーツ着用・申込不要

■第3回合同企業説明会

日程：2/19(火)・2/20(水)・2/21(木)

時間：13:20～16:30

場所：9号館

3日間で約90社が来校します!毎年学内合同企業説明会から多くの学生が内定につなげています。

※リクルートスーツ着用・申込不要

大相撲

本学OB松鳳山関

本学卒
初の

三役昇進

大相撲・松ヶ根部屋の松鳳山関(本名:松谷裕也 平成18年3月仏教学部卒)が、平成25年1月場所で新小結に昇進した。松鳳山関は、平成18年3月場所「松谷」の四股名で初土俵を踏んだ。平成22年5月場所で十両へ昇進。平成23年の11月場所で新入幕を果たし、四股名も「松鳳山」と改めた。躍進は続き、昨年9月場所では前頭筆頭に。つづく11月場所は、前頭二枚目に臨み、三大関を倒す破竹の勢いで、10勝5敗の好成績をあげるとともに敢闘賞を受賞。そして、この1月場所に小結となった。

本学OBの初の三役入りに、同窓生からも期待が寄せられている。十両昇進の際は、「横綱を目指し、頑張ります」と語っていた松鳳山関。より厳しくなる一番一番で勝ち星を積み重ね、駒大OB初の横綱誕生を期待したい。(広報課)



写真提供 日刊スポーツ

禅文化歴史博物館開館10周年を迎えて

禅文化歴史博物館館長 大山礼子

皆さんは駒沢のキャンパスに博物館があることをご存知でしょうか。七夕まつりで短冊に願いごとを書く場所、といえば、ああ、あそこかと思出す人もいるかもしれません。キャンパスで一番古い、レトロなスクラッチタイル貼りの建物が、駒澤大学のミュージアム「禅文化歴史博物館」なのです。

禅文化歴史博物館は、駒澤大学開校120周年記念事業の一環として、2002（平成14）年に開設されました。まだ歴史の浅い、小さな博物館ですが、禅文化を紹介する専門の博物館としてはおそらく世界で唯一の存在です。内部には天井のステンドグラスから光が降り注ぐ静謐な空間が広がり、禅の発祥から日本への伝来、そして曹洞宗の成立と展開をたどる展示のほか、修行僧の生活空間を再現した展示もあって、禅の世界を身近で体験することができます。また、大学史展示室では、駒澤大学の歩みを振り返り、昔の学生

生活を垣間見ることもできます。

博物館では、常設展示以外にも年に2回、春と秋に企画展を開催しており、大学内外から多くの来館者が訪れます。博物館の建物（「耕雲館」という名前です）は、関東大震災後のキャンパス復興事業として1928（昭和3）年に完成し、長い間、図書館として使われてきたもので、当時の



面影を伝える貴重な建造物です。今秋には、大学の駒沢移転100周年を記念して、移転当時の歴史資料とあわせて、建築としての耕雲館に焦点を当てた企画展を開催する予定です。

また、坐禅や写経、禅寺めぐりなど、博物館が主催するセミナーは、満員御礼になることも珍らしくありません。昨年5月に中央講堂で行ったセミナー「禅とスティーブ・ジョブズ」には200人近い参加者があり、立ち見の出る盛況でした。

残念なのは、大学の外からの来館者は多いのに、博物館の存在さえ知らない本学の学生が少なくないことです。ぜひ4年間の在学中に、一度は扉を開けて、禅文化歴史博物館を訪ねてみてください。



大学院新研究科 グローバル・メディア研究科開設

平成25年4月、大学院グローバル・メディア研究科グローバル・メディア専攻修士課程を開設します。当研究科ではグローバルに発展するメディアの最新動向に関する幅広い知識と実践的な英語力を有する専門的な人材の育成を目指します。同時に社会人にも広く門戸を開放しています。そのために、独創的なカリキュラムを編成します。

実践的な英語の習得を目指して、リサーチ・イングリッシュではライティングとプレゼンテーションの科目を提供します。また、講義科目については、メディアに関する産業論、文化論、及び情報論を幅広くカバーしています。さらに、演習科目は、産業論、文化論、情報論ごとのグループ指導制を採用し、複数の教員から多様な視点に立った指導が受けられるように配慮しました。

設備の面では、共同作業用のワークショップルーム、コンテンツスタジオを設け、進化するメディアに対応できるようにしています。

このように充実したカリキュラムと設備に基づいて、多様な実務経験と海外経験に富んだ教員が教育に当たります。

（暫定 グローバル・メディア研究科委員会委員長 福家秀紀）



第9回 Homecoming Day

～同窓生が母校に集う日～に1000人が参加

同窓生を母校に迎える「ホームカミングデー」が、11月3日に開催されました。この会は、オータムフェスティバル(大学祭)と同時開催するため、在學生と同窓生が駒沢キャンパスに集う賑やかな一日となります。

今回は、女優の東ちづるさんや、石井清純学長の講演、また毎年恒例の施設見学、坐禅会や懇親会などの催しが行われ、前回を超える約1,000人の同窓生がいらっしゃいました。また、吹奏楽部が歓迎マーチング、応援指導部ブルーペガサスが応援を披露し、久しぶりに母校を訪れた

「心豊かに自分らしく生きる」
東ちづるさん講演
つつながるよりそろう



同窓生を迎えました。

今も昔も変わらない学生の姿に、自らを重ね涙する方もいて、とても好評でした。

今年は記念すべき第10回目の開催です。招待状は、限られた卒業年度の方にはしかお送りできませんが、同窓生ならどなたでも参加できます。在學生の皆さんも、卒業したら母校へ足を運んでください。(広報課)



保健管理センターだより

タバコの害と健康

保健管理センター所長
吉川 宏起

本学の禁煙の取り組みは、現在は、学内分煙に始まり、昨年度から喫煙ルームをつくり、快適にタバコが吸える環境整備にあります。タバコは「百害あって一利なし」です。タバコの箱のパッケージにも今ではいろいろな文言『肺がん・肺気腫・口腔がん・咽頭がん・食道がん等への危険性』が入っているのを吸っている方たちはご存知だと思います。タバコの煙には、四千種類以上もの化学物質が含まれています。そのうち、発がん性物質は、なんと六十種類にも上ります。主に化学物質としてアセトン・ブタン・ヒ素・カドミニウム・一酸化炭素・トルエン等です。ニコチンはヘロイン(麻薬)と同じくらいやめるのが難しく、タバコの煙に含まれるニコチンは、麻薬にも劣らない依存性をもつ薬物です。

2006(平成18)年から、健康保険等を使って禁煙治療が受けられるようになりました。費用は(自己負担分3割)、処方される薬代が約3か月で12,000円～19,000円程度です。これは1週間に換算すると約1,000円～1,400円。毎日20本タバコを吸う方なら約2～4日分のタバコ代に相当します。ニコチン依存症は本人の意思の弱さではなく、ニコチンのもつ強い依存性が原因です。まさに麻薬と同様なので、一日も早く依存症を改善しましょう。そして健康を取り戻してほしいです。



国際交流協定校 キーンズランド大学 ～ 来日プログラム

本学協定校キーンズランド大学(オーストラリア)から17人の留学生を迎えて、来日プログラム(KOMSTUDY)が11月22日から12月16日までの約1ヶ月間実施されました。昨年度に引き続き、日本学生支援機構の留学生交流支援制度に採択された本プログラムは、本年度で24回目を数えるに至ります。

本プログラムは日本語の授業のほか、空手や茶道、書道を体験する日本の伝統文化の講義など内容が充実しており、禅研究館での坐禅実習は駒沢大学ならではの実習が体験でき、大変好評に終わりました。また、本学ボランティア学生が企画する「会話実習」に始まる様々な交流は、同世代の言葉や文化を学ぶ絶好の機会であり、両校の学生が言葉

の壁を越えた体験を共にした、まさに本プログラムの醍醐味と言えます。学外における研修旅行では浅草を訪れ、下町文化を肌で感じ、翌日のディズニーランドでのひとときは忘れられない思い出となりました。学生同士、積極的に交流を持つ姿がとても印象的で、今回も両校の学生は交流を楽しみ、その成果を十分に果たせたと言えるでしょう。



最後にこのプログラムの実施にあたり、留学生たちを温かく受け入れてくださったホストファミリーの皆さま、また多大なるご理解とご協力をいただいた国際親善協会各位や教育後援会の皆さま、近隣の方々、世田谷生活文化部文化・国際課および世田谷区深沢まちづくりセンター、本学教職員に深く感謝いたします。また、長期間にわたり献身的に留学生と行動をとってくれたボランティア学生諸君に改めて感謝するとともに、参加学生の今後の活躍を大いに期待したいと思います。(国際センター)



教務部よりお知らせ

◎平成24年度 後期・通年科目定期試験日程について

**定期試験
(集中試験)**

**1月
16日(水)・17日(木)・21日(月)**

定期試験

**1月
22日(火)～25日(金)、
28日(月)・29日(火)**

▶2013年1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

◎1 1月26日・27日は、大学入試センター試験の再試験が本学で行われる場合入構できません
◎2 1月29日は、土曜日振替試験日です

定期試験はすべて駒沢キャンパスで実施します。
詳細は、学内掲示・大学ホームページ・KONECO等で確認してください。

◎1月16日・17日・21日は、専門教育科目の集中試験です。
専門教育科目集中試験とは、履修者数が多いなどの理由で授業曜日・時限と異なる日時で実施する試験です。

学生証を忘れずに

◎平成25年度の授業日程について

大学では、年間の授業日程を、授業期間内(前期・後期、曜日ごと)に所定の授業回数となるよう予定を立てています。

国が定めた祝日により、所定の回数が確保できない場合は、別の曜日に振

替授業を行ってきました。そのため、授業期間の終盤になって同じ曜日の授業が頻繁に行われ、学生の皆さんの学習計画に支障をきたしています。

そのため、平成25年度から下記の祝日と開校記念日に授業を行うこととし

ました。これに伴い、5月の大型連休期間、11月のオータムフェスティバル実施期間に大学独自の振替休日を定め、全学休業日とします。

以上のことを踏まえて年間の学習計画を立てるようにしてください。

○休日授業日・・・以下の祝日・開校記念日は授業を実施します。

前期	5月6日(月) こどもの日の振替休日		
後期	9月16日(月) 敬老の日	9月23日(月) 秋分の日	10月14日(月) 体育の日
	10月15日(火) 開校記念日	11月23日(土) 勤労感謝の日	12月23日(月) 天皇誕生日

○全学休業日・・・以下の日は授業を実施しません(事務窓口も休業となります)。

前期	4月30日(火)・5月1日(水)・5月2日(木)
後期	10月30日(水)・10月31日(木)・11月5日(火)

大学からのお知らせは、駒澤大学ケータイサイトでも見られます。



平成26(2014)年度からカリキュラムが替わります

— 全学共通科目もリニューアルします —

平成26年度から、各学科のカリキュラムが替わります。3月に変更内容をまとめた『学園通信』臨時号を発行し、平成25年度『履修要項(学習ガイドブック)』と一緒に配布します。

また、同時期に在学生に対し、カリキュラム変更についての事前オリエンテーションを実施します。(詳細は、KONECOで配信します)

必ずカリキュラムの変更内容を確認し、しっかりとした履修計画を立てましょう。

世田谷における

Town Tourism



「まちなか観光」

の取り組み

経済学部松本ゼミの取り組み

まちなか観光とは？

「都市型観光」のことです。世田谷は住宅街というイメージがありますが、歴史的遺産、自然、商店街など、数多くの地域資源が存在します。それらを観光資源と捉え、魅力を再発見・発信していくことが世田谷における「まちなか観光」の取り組みです。2012年3月22日には区の産業団体・交通事業者・大学・NPO法人など40団体以上が参加する「世田谷まちなか研究会」が発足しました。同日に行われた「世田谷観光フォーラム」では、松本ゼミはまちなか観光を盛り上げる3つの提案を行いました。現在、そのうちの「せたがや検定」の実現に向けて活動を行っています。また研究会に参加する5大学の教員とそのゼミ生で「せたがやまちなか研究会」を年2回実施しています。

●せたがやまちなか研究会

世田谷のまちづくりを研究しているゼミが集まって親睦を深める研究会です。2012年の6月に第1回目の研究会、11月に第2回を行い、松本ゼミ、成城大学境ゼミ、昭和女子大学鶴田ゼミ、日本大学後藤ゼミ、国士館大学田中ゼミの5大学が参加しました。



研究会は、現段階では世田谷区内のまちづくりに関連した調査研究の成果報告やまちあるきをしています。スタートしたばかりの研究会ですが、今後はせたがやを活性化させるようなイベントを合同で行いたいと考えています。



●せたがや検定



せたがや検定プロジェクトは2012年4月から始まりました。松本ゼミの学生が自主的に取り組んで活動しています。このプロジェクトは問題作成の他、まちあるきコースづくり、お祭りにてプレゼントがや検定実施、地域イベントへ問題提供など、地域とつながりを持った取り組みもしています。



※問題にチャレンジ!※

イベント分野

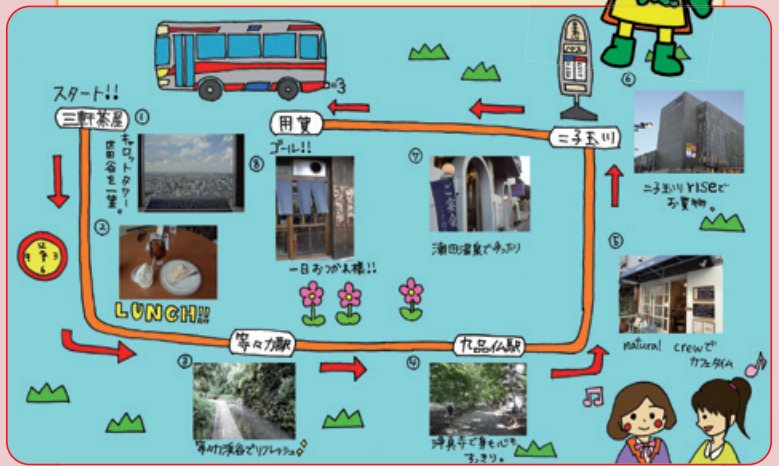
学ぶ、遊ぶ、働くことを通じて、人や地域産業との関わりをより素敵にする取り組みを行っている IID 世田谷ものづくり学校および三宿四二〇商店会エリアにて毎年11月ごろにとある食べ物のイベントが開催されています。

そのイベントの名称は次のうちどれでしょう。

- ①ごはん祭り
 - ②パン祭り
 - ③うどん祭り
 - ④そば祭り
- (答えは下にあります)

ゼミ生が頑張って作っています!!

※まちあるきOLコース



答え ②パン祭り (2012年は11月23日に開催されました)



白崎選手が、

横浜DeNAベイスターズから

1位指名

2012年プロ野球
ドラフト会議

本学硬式野球部の白崎浩之(法律4)選手が、10月25日に行われた2012年プロ野球ドラフト会議において、横浜DeNAベイスターズから1位指名を受けた。

白崎選手は、北海道岩見沢市出身。埼玉栄高校から本学に進学し、1年春からメンバー入り。2年生から内野手として活躍し、4年春のリーグ戦では、首位打者(.395)・ベストナインを獲得。ドラフト会議以前から、大型内野手として高く評価



されていた。指名を受けた直後の記者会見では「選ばれてとても光栄です。多くの駒大の先輩がプロ野球界で活躍しているので、私も記憶にも

記録にも残る選手になりたいです」などと緊張の面持ちで答えていた。「定位置を勝ち取り、最初から1軍で頑張れるよう努力したい」と1年目からのレギュラー獲りにも意欲を見せている。



写真提供 日刊スポーツ

白崎選手を1位指名した横浜DeNAベイスターズの監督は、本学OB中畑清氏(経営学部卒)。ドラフト会議翌日に祖師谷寮を訪れ、「新しい風を吹かせて欲しい。現在いる選手たちに緊張感、危機感を与えて欲しい」と激励した。

即戦力として注目されている白崎選手の活躍を期待したい。(広報課)

オータムフェスティバル2012 盛大に開催

「オータムフェスティバル2012」は、11月3日(土・祝)・4日(日)の2日間にわたり、大学開校130周年の記念行事として開催されました。今回は本学OBでロンドンオリンピックボクシング銅メダリストとなった清水聡選手のトークショーやフリーマーケットが新企画として加わり、その他学内の装飾にも力を入れました。また従来の企画も無事成功を収めました。12,000人を超える方々にご来場いただき、大変活気に満ち溢れたオータムフェスティバルを開催できたことを嬉しく思います。

最後に、オータムフェスティバル2012にお越しいただいた皆さまをはじめとして、ご協力いただきました関係者の皆さまに、実行委員一同厚くお礼を申し上げます。



(オータムフェスティバル2012実行委員長 和田 裕)

サークル訪問 136回

軽音楽部ジャズ研究会



昨年、本学は130周年を迎え、また新たな歴史の1ページを開きました。今回のサークル訪問は駒澤大学130周年記念祭で素晴らしい演奏をしていただいた軽音楽部ジャズ研究会の皆さんです。

部員数は25人。和気あいあいとした雰囲気です。高校で吹奏楽部に所属していた部員が多く、楽器経験者が豊富なジャズ研。土曜日の夜に玉川キャンパスにある部室にてセッションを楽しんでいます。曲は初見がほとんど。セッションはスタンダードブックというテーマの本を使う他に、自分たちで採譜をすることもあるそうです。主にオータムフェスティバル、6月に行われる1年生のファーストステージなどを中心に演奏しています。部全体だけではなく、個人で他大学に演奏出演したり、お店で演奏するなど活躍の場は様々。

「外部との交流が少ないので、部全体で他大学との交流をしていきたい」と、オータムフェスティバルを終え、新体

制となった意気込みをメンバーは話します。さらに、1つの曲をとっても全く違う演奏になる、アドリブの大事さとおもしろさも語ってくれました。アドリブこそがジャズの醍醐味ということなんですね。

1月に行われる教育後援会新年賀詞交歓会では、プロのジャズシンガーの方と一緒に演奏を披露される予定です。セッションは年齢問わずいつでも歓迎しているそうです。身近なようで実は奥が深いジャズ。皆さんも一度触れてみてはいかがでしょうか。

(学生記者 駒大スポーツ所属 法学部政治学科2年 町田敦子)



Circle Report 136

応援指導部ブルーペガサス

応援発表会『天馬祭』盛大に開催

我々第33代応援指導部は、この一年間で本当に様々なことを経験させていただきました。前年より東都大学野球1部リーグに復帰を果たした、硬式野球部の応援活動、応援発表会『神宮への誘い』、出雲駅伝・全日本大学駅伝における陸上競技部の応援活動。そして12月1日に開催した応援発表会『天馬祭』。どれをとっても私たちにとって貴重な経験です。応援というものに完成形はありません。そのため、時には目標を見失ってしまいそうになることもあります。

そのような時、なぜ応援をするのか、その原点に立ち返ってみると、それは純粹に駒澤大学が好きだから。頑張っている駒澤大学生たちを応援したいから。その思いがあれば私たちは逆境にあっても何度でも自分たちを奮い立たせ、彼らと一緒に頑張ることができるのです。応援というものは目に見えず、形がないものです。

しかし、形がないからこそ応援は人の心に届いて、内からその人を勇気づけることができるのだと私たちは信じています。第33代応援指導部は天馬祭をもって引退しましたが、応援指導部ブルーペガサスの未来はこれから開けていくばかりです。これから幾代と月日を重ね変わっていくとしても、駒澤大学を想う気持ち、その精神はいつまでも変わらず、応援指導部ブルーペガサスに宿り続けていくであらうと思うのです。



(代表 文学部英米文学科4年 関 淳悟)

ボクシング部

ぎふ清流国体、全日本アマチュアボクシング選手権大会で優勝ラッシュ！

私たちボクシング部は関東大学ボクシング1部リーグに属しており、今年度は3位という成績を修めAランク入りを果たすことができました。

昨年の10月に岐阜県で開催された『ぎふ清流国体(国民体育大会)』ではライトフライ級で田中亮明(商1)、ミドル級で濱



崎良太(禅4)が優勝。フライ級の林田翔太(商2)とバンタム級の志渡澤和広(仏

教3)が3位という成績を残し、計4人の選手が入賞しました。

さらに11月には、東京都日野市で第82回全日本アマチュアボクシング選手権大会が行われ、本学ボクシング部から13人が出場。3人が決勝進出を果たし、フライ級で林田翔太、ミドル級で濱崎良太が優勝するという快挙を成し遂げました。ぎふ清流国体のライトフライ級で優勝をした田中亮明は、決勝進出を果たしましたが、準優勝。バンタム級の志渡澤和広が3位という結果を残すことができました。

ロンドンオリンピックでは、ボクシング部OBである、清水聡選手がバンタム級で銅メダルを獲得し、日本中に感動と興奮の渦を巻き起こしました。

私たち、ボクシング部も1部リーグでの優勝を目標に、日々努力をして清水選手に少しでも追いつけるように頑張っています。これからもボクシング部の応援をよろしく願いいたします。



(文学部国文学科3年 星島義樹)

硬式野球部

2012東都大学1部リーグ戦を振り返って

私たち硬式野球部は、リーグ戦での優勝を目標に選手一人ひとりが日々練習に励んでおります。駒澤大学が加盟している東都大学野球リーグは全国でもとてもレベルが高く、毎年のように卒業生を含めプロ野球に進む選手がいます。リーグ戦中は火曜日、水曜日に試合を行い6チームの中で優勝を目指しています。

春季リーグ戦は4位という結果に終わってしまい悔しい思いをしました。その悔しさを晴らすべく、厳しい夏の暑さに負けず毎日のように練習やオープン戦を戦ってきました。そして開幕した秋季リーグ戦。開幕からいいスタートを切りました。打線は好調で投手も安定していましたが優勝を逃し、結局同率で2位という結果になってしまいました。

しかし個人タイトルでは春季、秋季と

もに首位打者を我がチームから輩出することができ、ベストナインも春季、秋季それぞれ3人ずつ獲得することができました。今後は個人タイトルに加えて『優勝』というタイトルを獲得できるようにチーム一丸となって戦っていきます。

こうして、硬式野球部が活躍できるのは卒業生、教職員、応援指導部ブルーペガサス、そして地域の方々の応援があったことだと思っております。今後はこの感謝の気持ちを『優勝』という二文字で皆さまにお届けできるよう頑張っていきますのでこれからも応援のほどよろしく願いいたします。(マネージャー



文学部心理学科3年 中村大地)

準硬式野球部

東都準硬式野球2部リーグ優勝！1部昇格！

私たち、準硬式野球部は1年生24人、2年生18人、3年生14人、マネージャー5人で活動をしています。週3日という少ない日数で、限られた時間のなか自分たちで練習メニューを考え、効率のいい練習ができるよう工夫しながら、一人ひとりが高い意識を持って練習に取り組んでいます。また野球だけではなく学生の本分を忘れず勉強を両立させ、本学学生であるとともに、社会人へ向け自覚ある行動を身につけております。

昨年の春季リーグは、東都大学準硬式野球2部リーグで最下位だったため、秋季のリーグ戦は苦しいスタートになりました。春の敗戦の悔しさをバネに、日々の練習、夏の合宿とチームが2部優勝という一つの目標に向かって取り組んできました。そして、秋季リーグ戦では見事に2部リーグ優勝し、1部昇格を決めました。チームの目標である優勝が決まった瞬間は今でも忘れません。

秋季リーグ戦が終わってから、3年生は引退し、現在は1年生と2年生で活動しています。3年生が抜けて不安要素が出てきますが、2年生はもちろん、1年生にも自覚が芽生えてきて、とてもいい雰囲気練習ができています。今年も昨年と同様、チーム一丸となって戦います。一人ひとりが役割をもって一日一日の練習を大事にし、1部リーグ優勝を目標に頑張っていきます。(法学部法律学科フレックスA 2年 笠井 勝)



サークルの活動予定

体育会

●硬式テニス部

- ◎関東学生新進テニス選手権大会／2月中旬～3月中旬／各大学テニスコート・有明テニスの森公園

●一般スキー部

- ◎第40回全国学生若岩スキー大会／基礎スキーの部 2月24日～3月1日 アルペンの部3月13日～19日

- ／白馬岩岳スノーフィールド
- ◎第40回SIG学生基礎スキー技術研修発表会／3月中旬／車山高原スキー場
- 自転車部
- ◎全日本学生RCS第12戦 葛蒲クリテリウム／1月27日／埼玉県行田市
- ◎全日本学生RCS最終戦 神宮外苑クリテリウム／2月17日／明治神宮外苑

第89回東京箱根間往復大学駅伝競走 **復路優勝** 優勝候補の誇りを **総合3位** に見せた

1月2日(水)・3日(木)に行われた第89回箱根駅伝(東京・大手町～箱根・芦ノ湖 往復 10区間 217.9km)において、本学陸上競技部は、往路9位と出遅れたものの、復路優勝、総合3位と王者の誇りを示す結果を残した。

強風に苦しめられるレースとなった往路。1区・油布選手(経営3)は、4位の好スタート。3区・中村選手(経済2)が2位に押し上げたが、後続の選手たちが流れに乗れず往路は9位という結果に終わった。



9区上野選手 10区後藤田選手

翌日の復路は、4年生4人が盤石の体制でレースに臨んだ。6区・千葉選手(経済4)は、自らの区間記録に迫るタイムで区間賞。順位を6位に押し上げた。7区・久我選手(社会福祉4)が5位に、9区・上野

選手(政治4)が区間賞の走りでチームは3位に。最終10区・後藤田選手(法律4)も区間賞を獲得し、総合3位・復路優勝と『復路の駒大』を示した結果を出した。

上野選手は、「悔しい。後輩たちに助けられていたので、今回は自分たち4年生がなんとか…」と言葉をつまらせながら語った。「4年生が見せてくれた走りは、必ず来年につながる」と大八木監督。実力のある1、2年生が来年の箱根路を狙い、チーム内での戦いが、この時からすでに始まっていることを表すコメントだった。



千葉選手から久我選手へ

		区間賞 上段：個人順位)タイム 下段：通算順位)タイム				
成績	往路	第1区(21.4km)	第2区(23.2km)	第3区(21.5km)	第4区(18.5km)	第5区(23.4km)
	復路	第6区(20.8km)	第7区(21.3km)	第8区(21.5km)	第9区(23.2km)	第10区(23.1km)
総合3位	駒澤大学	油布 郁人	窪田 忍	中村 匠吾	湯地 俊介	村山 謙太
11:19:23	(217.9km)	4) 1:03:58	7) 1:11:25	3) 1:05:55	19) 1:01:29	8) 1:24:25
往路9位	5:47:12	4) 1:03:58	5) 2:15:23	2) 3:21:18	10) 4:22:47	9) 5:47:12
復路1位	5:32:11	千葉 健太	久我 和弥	郡司 貴大	上野 渉	後藤田 健介
		1) 58:15	5) 1:05:33	11) 1:07:44	1) 1:09:50	1) 1:10:49
		6) 6:45:27	5) 7:51:00	6) 8:58:44	3) 10:08:34	3) 11:19:23

第44回全日本大学駅伝対校選手権大会

最終8区での**大逆転勝利**

～10度目の優勝!～ **大会新で**

2連覇!!

11月4日(日)に行われた第44回全日本大学駅伝(愛知県・熱田神宮～三重県・伊勢神宮、8区間106.8km)において、本学陸上競技部が、5時間12分43秒の大会新記録で2連覇を果たした。

箱根駅伝の前哨戦とも言われている今大会。10月に行われた出雲駅伝では、優勝候補にあげられながらも5位となり、意気込みも新たに大会に臨んだ。

1区・攪上選手(経済4)は、トップと17秒差の6位で2区・村山選手(経済2)へ。3区・油布選手(経営3)は、区間賞(区間新)の走りで、2位に浮上し、4区・上野選手(政治4)に繋ぐ。5区は、駅伝初出場の湯地選手(歴史3)。6区・久我選手(社会福祉4)が、駅伝主将としての力強い走りを見せ、7区・黒川選手(現応経2)に。黒川選手も3大駅伝初出場ながら区間2位の走りで、エース8区の窪田選手(経済3)に襷を託した。

窪田は、5km付近までトップ東洋大学との差をなかなか詰められなかったが、8km過ぎから、ジワジワと相手を攻めるようにペースアップ。13km付近で追い付き相手の表情を伺いながら、15km手前で一気に突き放した。

ゴール地点が近づくと、満面の笑みで両手でVサイン。ガッツポーズで雄叫びをあげゴールし、大八木監督、メンバーたちの輪に飛び込んだ。1分7秒差を逆転し、2位を49秒突き放しての勝利に、窪田は「チームに貢献できての優勝は、本当に嬉しい」、大八木監督は、「この優勝は、窪田のおかげ。エースらしい走り。」と絶賛した。



村山選手から油布選手へ

この勝利に浮かれている暇はなく、箱根駅伝の5年ぶりの優勝に向かって翌日から練習開始。箱根駅伝総合優勝に向かって突き進んでいく。

		区間賞(区間新) 上段：個人順位)タイム 下段：通算順位)タイム			
総合成績	優勝	第1区(14.6km)	第2区(13.2km)	第3区(9.5km)	第4区(14.0km)
	駒澤大学	攪上 宏光	村山 謙太	油布 郁人	上野 渉
5:12:43 大会新	(106.8km)	6) 43:34	4) 38:04	1) 26:55	4) 40:56
		6) 43:34	3) 1:21:38	2) 1:48:33	2) 2:29:29
		湯地 俊介	久我 和弥	黒川 翔矢	窪田 忍
		4) 34:45	3) 35:48	2) 35:09	2) 57:32
		2) 3:04:14	2) 3:40:02	2) 4:15:11	1) 5:12:43



雄叫びとともに優勝のゴールテープを切る窪田選手

第24回出雲駅伝

序盤から波にのれず…第5位

「第24回出雲全日本大学選抜駅伝競走」は、2012年10月8日(月・祝)に出雲大社→出雲ドームの6区間(44.5km)で行われた。

大学三大駅伝三冠を狙って臨んだレースだったが、1区からうまく流れにのることができないまま、レースが進んだ。最終区、順位を8位から押し上げ、第5位という結果となった。

レース前の評価は、優勝候補筆頭に名を連ねていたものの、惜敗。「甘さが結果に出た。このレースをしっかりと反省し、練習をして残りの2つの駅伝は、必ず優勝する」と選手たちは口々に語った。